

HELLO SAGA



佐賀県国際交流・協力情報誌

心の国境をなくそう！
Free your heart of borders!



Free your heart of borders ～せかいをしろう～ 月替わりパネル展

他国の文化や魅力を知ってもらい、国際理解、多文化共生社会実現への促進を図ることを目的に、11月より月替わりパネル展を国際交流プラザにて開催しております。11月はベトナム、オーストラリア、12月は中国、ブラジルを紹介しました。1月はフィリピン、ベナン共和国です。来月以降もどうぞお楽しみに！ぜひ佐賀県国際交流プラザにお越しください。

公益財団法人 佐賀県国際交流協会

Saga Prefecture International Relations Association (SPIRA)

さが多文化共生センター Center for Multicultural Society in Saga

佐賀県国際交流プラザ Saga International Plaza

〒840-0826

佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル 1階

Saga Shoko Build. 1F 2-1-12 Shirayama, Saga City

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055

E-mail:info@spira.or.jp

Consultation Service(相談専用) TEL:0952-22-7830



SPIRAイベントチェック



HELLO SAGA
バックナンバー

※2021年4月1日より、佐賀県国際交流プラザは、佐賀県国際交流協会が運営管理することになりました！ご利用をお待ちしております。

災害…そのとき外国人は？

大雨特別警報が、2018年の西日本豪雨、2019年、2020年、2021年と発令されている佐賀県。ですが、災害は大雨だけではありません。

地震は？津波は？災害への備えはできていますか？



大きな災害が発生すると、私たち佐賀県国際交流協会(SPIRA)は、佐賀県国際課と協働で「佐賀県災害多言語支援センター」として24時間体制で活動します。

「佐賀県災害多言語支援センター」の活動内容は、主に情報発信と相談対応。災害関連情報を収集し、翻訳して発信したり、多言語で相談に対応したりしています。

災害関連の情報発信の対応言語は、やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ネパール語、ミャンマー語です。

相談は、21言語で24時間対応します。通常SPIRAで使用しているFacebook、LINE、電話番号にて災害時も多言語相談を受け付けます。



2019年 佐賀県災害多言語支援センター活動中の様子



佐賀県災害多言語支援センター運営訓練の様子



2018年 体験型防災セミナーの様子

SPIRAでは毎年、外国人住民に日本で起こる災害について理解を深めてもらい、いざ災害が起こった時にも、自分の身を守り(自助)、適切な行動(避難等)に繋がれるように、実際に体験を通して学ぶ「体験型防災セミナー」を実施しています。

今年は1月30日(日)に、佐賀女子短期大学の留学生と一緒に、佐賀広域消防局の防災学習広場で、地震・水害・火災時の煙体験などを実施予定です。

このような外国人対象の体験型防災セミナーのほか、地域の皆様には、外国人とともに取り組む災害対応についての出前講座も行っておりますので、実施を希望される団体・企業の方はご相談ください。



平時からの人と人とのつながり、地域での助け合いが災害を共に乗り越える大きな力となります。皆様の周りの外国出身の方、多言語での情報提供やお手伝いが必要な方がいらっしゃいましたら、当協会をご紹介ください。SPIRAも皆様とのつながりを大切に、これからも活動してまいりますので、ともに災害に備え、ともに災害につよい佐賀県をつくっていきましょう。

JICA OB・OG通信

JICAの皆さんはどんな活動をしているの？JICA海外協力隊やシニア海外ボランティアとして実際に派遣されていた方から、その活動についてお聞きます！



吉野 純さん
派遣国：マーシャル諸島
職種：理学療法士



Q1. 派遣先のマーシャル諸島ってどんな国？

太平洋の真ん中に浮かぶ、人口58,000人ちょっとの小さな島国です。一年を通して季節は夏、28℃～31℃と過ごしやすい気候です。言葉にならないほど美しい海に囲まれ、そこに暮らす方々は本当にのんびり、ゆっくりした時間の中で穏やかに生活をしています。その特異的な国の形から、「太平洋の首飾り」と呼ばれています。

Q2. 派遣時の活動内容について教えてください。

マーシャル諸島では、その罹患率は世界一である糖尿病の蔓延が深刻な国内問題としてあります。自分の活動は、病院内で糖尿病による切断手術後、脳卒中後のリハビリテーションを同僚の方々に向け教育・発信を行ったり、保健省の看護師さんと共に病院外での予防・啓発活動を行っていました。

Q3. 派遣中の一番の思い出は何ですか？

たくさんの思い出がありますが、一番は職場の同僚や普段親しくしている現地の友達から、サプライズの誕生日パーティーをして貰った事です！本当に皆優しく、仲良く働ける職場に恵まれました。



Q4. 帰国後のお仕事について教えてください！

コロナの影響を受け、ちょうど任期の折り返し地点で帰国となってしまいました。その後は東京都にある国外医療支援を手掛けてある病院で10ヶ月ほど勤務をしていました。今年の10月からは、今後も国際開発協力の現場で専門家として働いて行くため、長崎大学の大学院でマーシャル諸島での経験で見出した自分の課題を学んでいきます。

JICAボランティアに関するお問合せ・連絡先

(公財)佐賀県国際交流協会内 JICAデスク佐賀 武田 七重

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055

E-mail:jicadpd-desk-sagaken@jica.go.jp

多文化共生ってなあに？ ～佐賀県国際課の多文化共生の取り組みを紹介していきます～

■高校への訪問

佐賀県国際課では、多文化共生についての出前講座を行っています。令和3年11月に、佐賀商業高校のグローバルビジネス科の3年生を対象に行った講座では、県内の学校に通うセネガル、スリランカなど7か国からの留学生12名も参加し、「多文化共生」について一緒に学び、交流しました。最初は留学生とうまく話せるか不安のあった生徒たちでしたが、講座後には、「もっと積極的にコミュニケーションをとりたい」と、交流の楽しさ、大切さを感じていました。



CODO外語観光専門学校の留学生と話す生徒

生徒の声

「言葉の壁はあまりない」「人は見た目ではない」
「いろいろな国の人が、日本のことが好きで、日本語を勉強していることがとても嬉しい！」
「やさしい日本語を使って、ジェスチャーを入れるなど、私たちも外国人の方に伝わるように、努力することが大切だと思った」

留学生の声

「交流をして、いろいろ勉強になりました」
「日本と母国の架け橋になりたい」
「外国のことを知りたい日本人の学生がいて、嬉しかった」

■「やさしい日本語」普及動画、入門編・基礎編・実践編を公開中！

私たちが普段使う日本語を「やさしい日本語」にして話すことで、外国人と会話がしやすくなり、災害時の情報も伝えやすくなります。この「やさしい日本語」をもっと知ってもらうために、佐賀県では「やさしい日本語」の普及動画（入門編・基礎編・実践編）を作成しました。現在、佐賀県内には様々な国籍の約7千人の外国人が住んでいます。まだまだ地域では「言葉がわからないから話せない」、「どんな人かわからないから、話すのは苦手」というイメージをお持ちの方もいらっしゃるのではないかと思います。そんなイメージを少しでも変えたいと思い、動画のタイトルを『心の壁をなくそう!』にしました。動画の取材をしながら感じたことは、地域の方が若い技能実習生を心配していたり、外国人の方ともっと関わりたいと考えているということです。地域に「やさしい日本語」が浸透して、お互いをもっと知ることができれば、外国人の方々に「佐賀に来て良かった」と思ってもらえるような地域になっていくと思います。12月に公開した「実践編」では、「やさしい日本語」での外国人へのインタビューチャレンジと、技能実習生を受け入れている県内企業の「やさしい日本語」への取組を紹介しています。

佐賀県国際課 TEL 0952-25-7328

動画はこちらのQRコードからご覧ください



📅 ランチタイム Seminars!

今年度も
実施します!

「ランチタイムSeminars!」に参加してみませんか。
佐賀県国際交流員や外国人住民をゲストに様々なトピックをお話いただきます。笑いあり、学びあり、楽しく海外の文化に触れましょう。

🕒 **2022年2月22日(火) 12:15~12:50**

参加方法: 現地参加又はオンライン視聴

(正式な開催方法は、各回の開催日の前日までに
HP、Facebookにてお知らせいたします)

オンライン視聴の際は、開催時間帯に当協会のFacebookへアクセス→

📍 **<現地開催>佐賀県国際交流プラザ内 研修室**
(佐賀市白山2-1-12佐賀商エビル1階)



📅 やさしい日本語交流会

国際交流したいけれど、外国語はむずかしい。そんな方は、プラザにお越しください!

日本語を学ぶ留学生とやさしい日本語を使って交流しましょう。
日頃使っているはずの日本語、なぜ通じない?なにが難しい?実践してわかることもあります。当日は、NPO法人多文化共生全国協議会理事、佐賀県多文化共生コーディネーターの北御門さんがファシリテーターを務めます。

🕒 **<詳細はこちら>**



<お申込みは>

佐賀県国際交流プラザ

☎ **0952-25-7004**

✉ **plaza@spira.or.jp** まで

📅 「くらしさぽーとさが」の外国人無料相談会

行政書士さんによる外国人のための無料相談会です。
予約をすれば通訳もつきますので、日本語ができなくても大丈夫です。

🕒 **毎月第3土曜日 13:00~16:00**

📍 **佐賀県国際交流プラザ(商エビル1F)**

☎ **090-3328-2123**

(くらしさぽーとさが 松枝さん)

※通訳が必要な人は、予約してください。



🌐 多文化アート展 ~筆と墨~

“Free Your Heart of Borders~心の国境をなくそう~”をテーマに、佐賀県の外国人住民、外国にルーツがある方から応募いただいた墨を使った約80点を1月から3月にかけて県内各所で展示します。作品を通して佐賀で実現する外国人との多文化共生社会を感じていただける傑作の数々!ぜひご覧ください。



■ 展示会スケジュール

2022年1月4日~1月31日 佐賀商エビル1階

2022年2月1日~2月9日 ゆめタウンさが

2022年2月17日~3月9日 佐賀市立図書館

🌐 えびすFM

**「心の国境をなくそう!ラジオで地球発見隊」
放送日のお知らせ**

SPIRAは、えびすFMにてJICA九州、佐賀県海外協力協会との共同ラジオプログラム「心の国境をなくそう!ラジオで地球発見隊」をお送りしています。
ゲストを交えながら国際交流・協力や多文化共生に関する情報を発信しています♪
みなさんお聴き逃しなく!



🕒 **毎月第1、3、5水曜/19:00~20:00**

第1、5水曜: JICA九州+佐賀県海外協力協会

『Jump to the World』

第3水曜: SPIRA(佐賀県国際交流協会)

『SPIRA 多文化わいわいわい』

聴取方法: ラジオ周波数「89.6MHZ」、スマホアプリ、
パソコンからも聴取可能です

さが多文化共生センター

当協会では外国人住民に関する総合相談窓口「さが多文化共生センター」を運営しています。相談はご本人からだけではなく、事業所や地域のみならず、さまざまから受け付けています。今回はセンターに寄せられるよくある質問をご紹介します。

Q. 来月、私の家族が福岡空港から航空便で帰国します。渡航に際して、新型コロナウイルス感染に関する入国前72時間以内の検査証明書を提出しなければいけないので佐賀県か福岡県で検査証明を行う病院を教えてください。

A. 検査証明については渡航先国によって検査方法等に関するルールが異なりますので、まず、大使館(領事館)へ確認されることが大切です。また、航空会社へも制限事項等がないか尋ねておきましょう。検査証明を行う医療機関は経済産業省のウェブサイト「海外渡航者新型コロナウイルス検査センター(TeCOT)」(※)で調べられます。病院を選ぶときには検査方法・検査書の原本性・取得時期と旅程の関係、等の諸条件に注意しましょう。

※ <https://www.tecot.go.jp/rmii/>



さが多文化共生センターのHPにもよくある質問を掲載しています。
ぜひご覧ください。

<https://www.spira.or.jp/cmss/>



さが多文化センター
ホームページ

相談方法

つーつー なやみぜろ

TEL/0952-22-7830

E-mail/info@spira.or.jp



Facebook



LINE

※やさしい日本語・多言語による対面相談も実施しています。

相談日時: 月曜日~金曜日 9:00~12:00/13:00~16:00

(*土・日・祝日・年末年始12/29~1/3は閉まっています)

場 所: 佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商エビル1F
(佐賀県国際交流プラザ内)